



2021年11月9日

各 位

会社名 ヨネックス株式会社
 代表者 代表取締役社長 林田 草樹
 (コード番号7906 東証第2部)
 問合せ先 常務取締役 米山 修一
 TEL (03) 3839-7112

2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想と実績値の差異、通期連結業績予想の修正、剰余金の配当(中間配当)並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ

2021年8月10日に公表した2022年3月期第2四半期累計期間の連結業績予想値と本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

また、2022年3月期連結業績予想の修正、および2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当(中間配当)、並びに2022年3月期の期末配当予想の修正について、下記のとおり決定いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異について

(1) 2022年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異

(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 35,000	百万円 3,000	百万円 3,100	百万円 2,300	円 銭 26.27
実績値(B)	34,788	4,189	4,305	3,344	38.19
増減額(B-A)	△211	1,189	1,205	1,044	
増減率(%)	△0.6	39.7	38.9	45.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	22,093	△215	144	△73	△0.84

(2) 差異の理由

2022年3月期第2四半期(累計)の業績につきまして、売上高は概ね想定通りに推移しました。利益につきましては、セールスマックスの改善により売上総利益率が想定を上回ったことに加え、国内の緊急事態宣言延長に伴う大会の中止や活動の制限等により販管費が想定より減少し、前回発表予想を上回りました。

2. 通期業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 68,000	百万円 4,000	百万円 4,100	百万円 3,000	円 銭 34.26
今回発表予想 (B)	71,000	5,500	5,600	4,300	49.11
増減額 (B-A)	3,000	1,500	1,500	1,300	
増減率 (%)	4.4%	37.5%	36.6%	43.3%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	51,554	1,032	1,823	1,102	12.59

(2) 修正の理由

売上高につきましては、下期も中国のバドミントン、北米のテニスの好調が継続すると見込まれます。一方で、日本国内においては屋内競技であるバドミンントンの回復の遅れなど、依然として新型コロナウイルス感染症の影響による先行き不透明な状況は続く見込まれるため、慎重な見通しとしております。利益につきましては、増収に伴う売上総利益の増加が見込まれる一方で、中国における来期以降も見据えたさらなるプロモーションの実施と、日本国内の市場回復へ向け積極的なマーケティング施策を行うことによる販管費の増加を見込んでおります。

3. 剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想の修正について

（1）配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月12日)	前期実績 (2021年3月期中間)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株当たり配当金	5円00銭 (普通配当 3円00銭) (記念配当 1円00銭) (特別配当 1円00銭)	3円50銭 (普通配当 2円50銭) (記念配当 1円00銭)	2円00銭
配当金の総額	438百万円	—	175百万円
効力発生日	2021年12月3日	—	2020年11月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

（2）期末配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年5月12日)		2円50銭	6円00銭
今回修正予想 (2021年11月9日)		3円00銭	8円00銭 (普通配当 6円00銭) (記念配当 1円00銭) (特別配当 1円00銭)
当期実績	5円00銭 (普通配当 3円00銭) (記念配当 1円00銭) (特別配当 1円00銭)		
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	2円00銭	2円50銭	4円50銭

（3）剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想修正の理由

当社では、株主の皆様に対する利益還元を重要な会社の経営政策として位置づけており、安定的かつ適正な配当水準を維持することを基本方針としております。上記の基本方針および直近の業績動向を踏まえ、中間配当につきましては、普通配当を1株当たり3円00銭とすることといたしました。さらに上期に予想を上回る利益水準であったことを踏まえ、特別配当1円00銭を加え、普通配当、創業75周年記念配当1円00銭と合わせて、配当予想の1株当たり3円50銭に対し、5円00銭とすることとしました。また、期末配当予想につきましても、2円50銭から3円00銭に修正することといたしました。これにより、年間の配当金は1株当たり8円00銭を予定しております。

(注) 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想値とは異なる可能性があります。

以上